

## 平成29年度 水道局の決算見込みの概要について

平成30年 8月 6日  
千葉県水道局管理部財務課  
話 : 043-211-8547

○千葉県水道局は、**上水道事業及び工業用水道事業を運営**しています。

○平成29年度の**決算見込み概要**は次のとおりです。

### 1 上水道事業

- ・収益的収入が831億円、収益的支出が671億円であり、消費税調整後の純利益は前年度に比べて**30億円増の142億円**となりました。
- ・資本的収入が123億円、資本的支出が435億円（うち建設事業費は292億円、企業債償還金は119億円）でした。その結果、収入が支出に対し不足となる312億円については、損益勘定留保資金等で補てんします。
- ・将来的には給水人口が減少に転ずると予想されるなど、**給水収益の大幅な増加は見込めない**一方、老朽化した浄・給水場施設や水道管路の更新・整備に多額の建設事業費が必要となることから、**一定の内部留保資金を確保しつつ、「中期経営計画」等に沿って計画的に事業を実施し、健全な経営に努めてまいります。**

### 2 工業用水道事業

- ・収益的収入が137億円、収益的支出が121億円であり、消費税調整後の純利益は前年度と同程度の**14億円**となりました。
- ・資本的収入が38億円、資本的支出が71億円（うち建設事業費は17億円、企業債償還金は31億円）でした。その結果、収入が支出に対し不足となる33億円については、損益勘定留保資金等で補てんします。
- ・**施設の老朽化対策や地震対策が急務**となっていることから、「施設更新・耐震化長期計画」や「中期経営計画」に沿って**計画的に事業を実施し、健全経営の維持に努めてまいります。**

# 1 上水道事業会計

## (1) 決算見込み額

### ア 収益的収支決算見込み額

(税込み・単位:百万円、%)

区 分		29年度 a	28年度 b	増減 c=a-b	増減率 c/b
収 入	給水収益	64,700	64,241	459	0.7
	給水申込納付金	4,746	4,353	393	9.0
	長期前受金戻入	7,326	7,787	△ 461	△5.9
	特別利益	2,310	606	1,704	281.2
	その他	4,044	3,723	321	8.6
	計 A	83,126	80,710	2,416	3.0
支 出	人件費	5,334	5,335	△ 1	△0.0
	動力費	2,420	2,283	137	6.0
	修繕費	6,375	6,519	△ 144	△2.2
	薬品費	2,073	1,767	306	17.3
	減価償却費・資産減耗費	28,856	28,096	760	2.7
	支払利息	2,921	3,155	△ 234	△7.4
	その他	19,072	20,067	△ 995	△5.0
計 B	67,051	67,222	△ 171	△0.3	
収支差 C=A-B	16,075	13,488	2,587	19.2	
純利益(消費税調整後)	14,204	11,170	3,034	27.2	

#### (ア) 収益的収入：前年度に比べ 24 億円増の 831 億円

- ・給水収益は、調定水量の増加などにより 4 億 59 百万円増加
- ・給水申込納付金は、新設申込件数の増 (+2,309 件) などで 3 億 93 百万円増加
- ・長期前受金戻入は、4 億 61 百万円減少
- ・特別利益は、退職給付引当金の戻入などにより 17 億 4 百万円増加

#### (イ) 収益的支出：前年度に比べ 2 億円減の 671 億円

- ・支払利息は、企業債残高の減などにより 2 億 34 百万円減少

(ウ) この結果、純利益（消費税調整後）は前年度に比べ 30 億円増の 142 億円となりました。

## イ 資本的収支決算見込み額

(税込み・単位:百万円、%)

区 分		29年度 a	28年度 b	増減 c=a-b	増減率 c/b
収入	企業債	8,000	10,000	△ 2,000	△20.0
	国庫補助金	571	238	333	139.9
	工事負担金	1,706	1,252	454	36.3
	その他	2,059	1,819	240	13.2
	計 A	12,336	13,309	△ 973	△7.3
支出	建設事業費	29,217	34,744	△ 5,527	△15.9
	企業債償還金	11,933	11,486	447	3.9
	投資	2,000	0	2,000	皆増
	その他	358	746	△ 388	△52.0
	計 B	43,508	46,976	△ 3,468	△7.4
収支差 C=A-B		△ 31,172	△ 33,667	2,495	△7.4

### (ア) 資本的収入：前年度に比べ 10 億円減の 123 億円

- ・ 企業債収入は、内部留保資金の活用により企業債発行額 20 億円減少
- ・ 国庫補助金は、八ッ場ダム事業費の増により 3 億円増加
- ・ 工事負担金は、対象工事費の増により 4 億 54 百万円増加

### (イ) 資本的支出：前年度に比べ 35 億円減の 435 億円

- ・ 建設事業費は、浄給水場関連施設整備費の減などにより 55 億円減少
- ・ 投資は、有価証券の購入により 20 億円増加

(ウ) この結果、資本的収支が 312 億円不足することから、損益勘定留保資金等で補てんします。

## (2) 資金残高

内部留保資金等の資金残高は、62 億円増加し、406 億円となりました。

## (3) 企業債残高

企業債残高は、39 億円減少し、1,419 億円となりました。

(平成 10 年度のピーク時に比べ 45.3%減・1,176 億円減)

## 2 工業用水道事業会計

### (1) 決算見込み額

#### ア 収益的収支決算見込み額

(税込み・単位:百万円、%)

区 分		29年度 a	28年度 b	増減 c=a-b	増減率 c/b
収 入	給水収益等	11,726	11,714	12	0.1
	長期前受金戻入	1,561	1,572	△ 11	△0.7
	その他営業外収益	331	526	△ 195	△37.1
	その他	59	18	41	227.8
	計 A	13,677	13,830	△ 153	△1.1
支 出	人件費	986	1,119	△ 133	△11.9
	動力費	746	652	94	14.4
	減価償却費	5,997	5,995	2	0.0
	委託料	1,648	1,700	△ 52	△3.1
	修繕費	663	576	87	15.1
	その他	2,045	2,294	△ 249	△10.9
	計 B	12,085	12,336	△ 251	△2.0
収支差 C=A-B		1,592	1,494	98	6.6
純利益(消費税調整後)		1,416	1,389	27	1.9

#### (ア) 収益的収入：前年度に比べ 2 億円減の 137 億円

- ・給水収益は、調定水量の増などにより 12 百万円増加
- ・長期前受金戻入は、11 百万円減少
- ・その他営業外収益は、原子力発電所事故に係る損害賠償金の収入などの減により、前年度に比べて 1 億 95 百万円の減少

#### (イ) 収益的支出：前年度に比べ 2 億円減の 121 億円

- ・人件費は、退職給付費の減などにより 1 億 33 百万円減少
- ・動力費は、電気料金の増などにより 94 百万円増加
- ・その他は、消費税納付額の減少等により 2 億 49 百万円減少

(ウ) この結果、純利益（消費税調整後）は前年度と同程度（27 百万円増）の 14 億円となりました。

## イ 資本的収支決算見込み額

(税込み・単位:百万円、%)

区 分		29年度 a	28年度 b	増減 c=a-b	増減率 c/b
収入	企業債	446	1,003	△ 557	△55.5
	出資金	3,000	3,000	0	0.0
	国庫補助金	145	160	△ 15	△9.4
	その他	182	108	74	68.5
	計 A	3,773	4,271	△ 498	△11.7
支出	建設事業費	1,727	880	847	96.3
	貯水施設費	1,261	1,070	191	17.9
	企業債償還金	3,121	4,027	△ 906	△22.5
	他会計借入金返還金	700	700	0	0.0
	その他	250	274	△ 24	△8.8
計 B	7,059	6,951	108	1.6	
収支差 C=A-B		△ 3,286	△ 2,680	△ 606	22.6

### (ア) 資本的収入：前年度に比べ5億円減の38億円

- ・企業債収入は、内部留保資金を活用したことから5億57百万円減少

### (イ) 資本的支出：前年度に比べ1億円増の71億円

- ・建設事業費は、導水管布設替工事費の増などにより8億47百万円増加
- ・貯水施設費は、八ツ場ダム事業に係る負担金の増などにより、1億91百万円増加
- ・企業債償還金は、償還期間の終了などにより9億6百万円減少

(ウ) この結果、資本的収支が33億円不足することから、損益勘定留保資金等で補てんします。

## (2) 資金残高

内部留保資金等の資金残高は、28億円増加し、219億円となりました。

## (3) 企業債残高

企業債残高は、26億円減少し、255億円となりました。

[ 参 考 ]

1 上水道事業会計

(1) 貸借対照表(平成30年3月31日)		(単位:百万円)		
資産		負債及び資本		
固定資産	726,397	負債	固定負債	137,330
流動資産	62,871		流動負債	30,202
繰延勘定	1		繰延収益	225,493
			資本金・剰余金	396,244
合計	789,269	合計		789,269

(2) 純利益の推移 (単位:百万円)

区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
純利益	7,570	8,323	9,133	11,170	14,204

(3) 資金残高の推移 (単位:百万円)

区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
資金残高	38,605	39,004	34,142	34,415	40,610

(4) 企業債残高の推移 (単位:百万円)

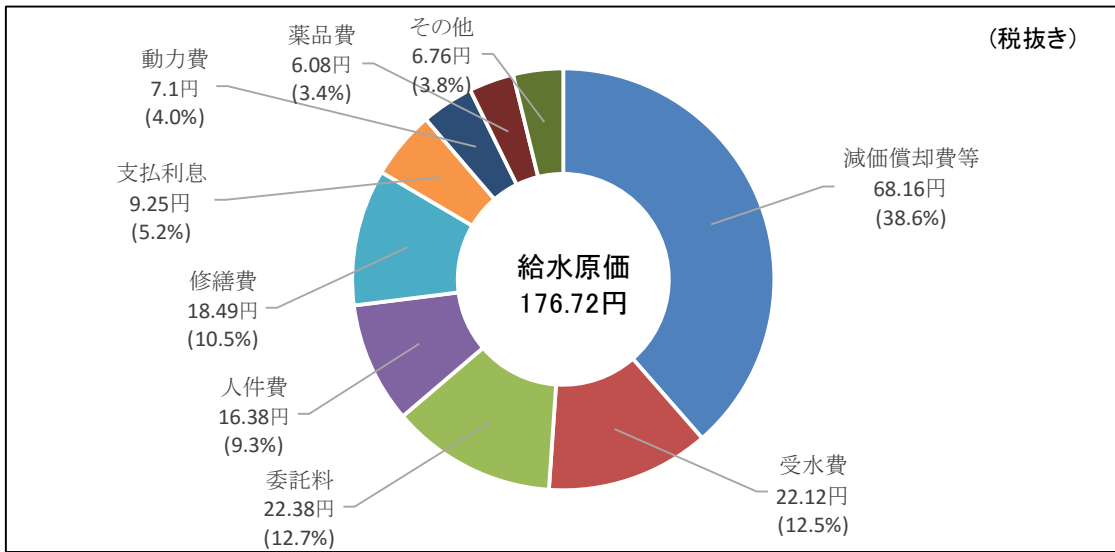
区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
借入額	2,000	2,000	2,000	10,000	8,000
企業債償還額	22,661	10,461	10,917	11,485	11,933
企業債残高	164,714	156,253	147,336	145,851	141,918

(5) 業務状況

項 目	29年度 a	28年度 b	増減 c=a-b	増減率 c/b
給水戸数 (千戸)	1,466	1,453	13	0.9%
給水人口 (千人)	3,027	3,012	15	0.5%
年間総給水量 (千m <sup>3</sup> )	324,104	319,280	4,824	1.5%
有収水量(収入の対象となる水量) (千m <sup>3</sup> )	303,826	300,785	3,041	1.0%
有収率(有収水量÷年間総給水量) (%)	93.7	94.2	△ 0.5	△ 0.5%
一日平均給水量 (千m <sup>3</sup> )	888	875	13	1.5%
一日最大給水量 (千m <sup>3</sup> )	1,033	940	93	9.9%
供給単価(1m <sup>3</sup> 当たりの売上単価) (円)	200.15	200.68	△ 0.53	△ 0.3%
給水原価(1m <sup>3</sup> 当たりの製造原価) (円)	176.72	175.85	0.87	0.5%
職員数 (人)	890	882	8	0.9%

(6) 給水原価の構成

給水原価は、水道水1m<sup>3</sup>をつくるために要した費用で、平成29年度は176.72円(税抜き)です。  
なお、上水道事業は、事業運営に係る経費のほとんどを水道料金で賄う独立採算制です。



[ 参 考 ]

## 2 工業用水道事業会計

### (1) 貸借対照表(平成30年3月31日)

(単位:百万円)

資産		負債及び資本		
固定資産	169,943	負債	固定負債	52,027
流動資産	24,384		流動負債	5,217
			繰延収益	40,910
		資本金・剰余金		96,173
合 計	194,327	合 計		194,327

### (2) 純利益の推移

(単位:百万円)

区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
純利益	2,363	799	1,030	1,389	1,416

### (3) 資金残高の推移

(単位:百万円)

区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
資金残高	14,394	12,850	15,789	19,087	21,886

### (4) 企業債残高の推移

(単位:百万円)

区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
企業債借入額	1,364	953	612	1,003	446
企業債償還額	4,376	3,957	3,929	3,937	3,035
企業債残高	37,297	34,293	30,976	28,042	25,453